

## 特別講演 1

### 「症例で診る水ナトリウム異常」

福井大学医学部 腎臓病態内科学 教授

岩野 正之 先生

腎臓は浸透圧調節系および容量調節系の効果器として働き、水・電解質異常を補正している。脱水や低 Na 血症は日常臨床で頻繁に遭遇する体液異常であるが、的確な治療を行うためには水・Na 異常の病態を正確に理解する必要がある。高 Na 血症の原因として最も多いのは輸液処方の誤り、すなわち医原性である。また、無症候性低 Na 血症の原因の中にも、低張輸液の過剰投与や利尿薬の誤った使用がある。そこで本講演では、水・Na 異常の治療法について、症例問題を考えながら、わかりやすく解説する。